

学校点描

夏服と冬服が混ざり始めました。衣替えは個人の判断にしています。何を基準に判断するのが注目です。

《M中学校》

NO.5

R5. 6. 6

担当：校長

5月24日（水）の午後6時からM中学校学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる制度です。これを、コミュニティ・スクールと呼びます。本年度の会長には、A・Mさん、副会長にはS・KさんとK・Aさんが選出されました。最近の中学生について、もう少し挑戦心をもってほしいという話もありました。

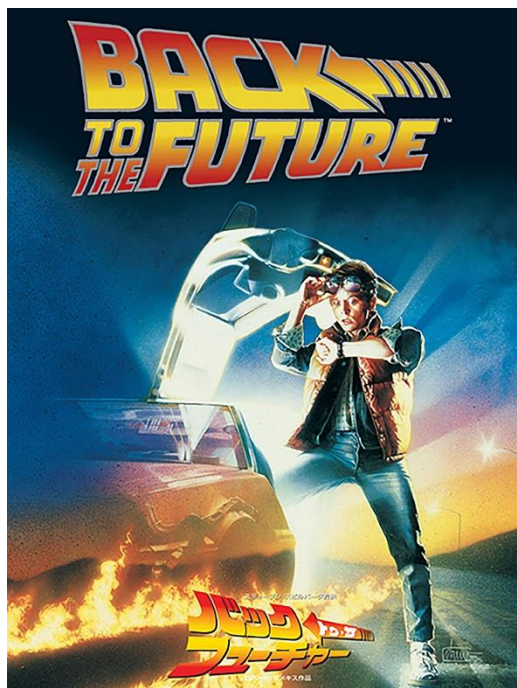
5月27日（土）にPTA育成整備部の方々の力を借りて、ボランティアの生徒たちと朝9時から花壇整備作業が行われました。スムーズな作業のおかげで短時間で作業は終わりました。学校を明るくする環境づくりをしていただいたこと、作業してくれたPTAや生徒の皆さんに感謝です。

6月2日（金）M未来塾（職業体験）を本校会場で、M高校の生徒も一緒に全校生徒で行いました。雨天の中、町内外から12の事業所の方々が朝から準備をしていただきました。人材不足の時代に入り、中高生に地元の事業所を紹介する場としても大切な教育活動になっていくと思います。

Back to the Future

人は過去のしょっぱい出来事を糧に、未来に走り出すことが多いと思います。

一方で、日本人はどうも、過去を思い出すのは、『思い出に浸るため』と考えがちです。実は、西洋の文化では、過去を振り返るのは『未来を描くためだ』という感覚が強いのです。



代表的なのは、今でもよく再放送される、大ヒット映画 **Back to the Future**『バック・トゥ・ザ・フューチャー』です。直訳すると「未来に戻る」「未来に戻る？」、ちょっと矛盾を感じてしまいましたが、監督のスティーヴン・スピルバーグ氏は、あえて未来へ戻るとしたことで、「過去と未来はつながっている。だから、過去を振り返ることで未来が生まれる。」と表現したかったのでしょう。

学校で歴史を学ぶ意義もそのところはとっても重要な部分です。ただの暗記だけでは意味がありません。

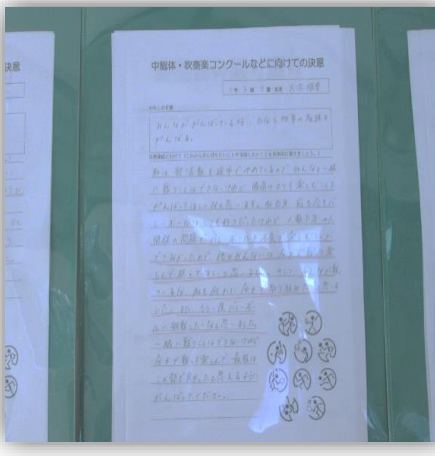
さて、先日、給食の時間に、給食を食べている様子を見ながら、各階の教室の前を歩いていました。2年生は給食の時は、教室ではなく学習室で食べています。人数の多い2年生にとって、スムーズな準備ができるようです。3階に上がると、3年生が静かに給食を食べていました。

廊下には、中学校総合体育大会や吹奏楽コンクールに向けての決意が書かれています。

ひとり一人の文章を読んでいると、大会やコンクールに向けた目標や、これまでの積み重ねてきた自分なりの努力などが書かれていました。

“どうして、毎日こんなことするのか？”とか、“どうしてこんな苦しいことに耐えなくちゃならないのか？”とか……。人間って、自分の今いる状況を確認し、その理由を探さないと、前に進めなくなる生き物なんだろうなあと思ひふけながら考えます。

その中に、特に印象に残った文章がありました。



大会には出場しない生徒の思いがこもった文章です。この文章は、仲間へのエールだけでなく、

私は、部活動を途中でやめているのでみんなと一緒に戦うことはできないけれど、勝ち負けよりも楽しむことをがんばってほしいなと思います。私自身、前も今もバレーボールはとても好きだったけれど、人数不足や人間関係の問題でバレーボールを本気で楽しむことはできなかったけれど、他のみんなには全力で戦って楽しんで終えてほしいと思います。そして、みんなが戦っている分、私も何かに全力で取り組みたいと思いました。また、もう一度バレーボールに挑戦したいなと思いました。一緒に戦うことはできないけれど、全力で戦って楽しんで、最後はこの部でよかったと思えるようにがんばってください。

(O・R)

自分の未来に対するエールにも感じとれる文章です。

過去のほろ苦い経験を、未来をつくる希望や勇気に変えようとする気持ちが伝わってきました。この想いを大切に抱いていれば、きっと自分が思い描く素敵な「未来に戻る」ことができるでしょう。

映画を超えて、ここに1枚の『バック・トゥ・ザ・フューチャー』がありました。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp